

株式会社gumi、スマートフォン向け『パズルボブル』を台湾で配信開始



株式会社gumi（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：國光宏尚、以下「gumi」）の子会社、台湾谷米數位科技有限公司（所在地：台湾台北市、代表取締役社長：三川 剛、以下「gumi Taiwan」）は、スマートフォン向け『パズルボブル』（台湾版タイトル：“泡泡龍”）の台湾・香港・マカオ地域における配信を2014年12月22日（月）に開始したことをお知らせいたします。

2014年5月に、gumiと株式会社タイトー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：飯澤幸雄）との間で締結されたライセンス契約に基づき、gumiの子会社であるgumi Korea, Inc.（本社：韓国ソウル市、代表取締役CEO：大野木勝、以下「gumi Korea」）が韓国でスマートフォン向け『パズルボブル』をリリース、300万ダウンロードを達成し、大成功を収めております。

gumi Koreaは韓国にて本作のローカライズ/カルチャライズをおこない、独自運営を実施しております。本作の成功で蓄積されたノウハウを、gumi Taiwanは『パズルボブル』の台湾でのサービス展開においても最大限に活かしてまいります。

■『パズルボブル』について

『パズルボブル』は、魔法使いの呪いによってドラゴンに変えられてしまった兄弟“バブルン”と“ポブルン”が、人間に戻る方法を探すため、各ステージのバブルを消しながら冒険を繰り返すパズルアドベンチャーゲームで、1994年に業務用ゲームとして初登場以来コンソール、PCなど様々なプラットフォームで20以上のパズルボブルシリーズがリリースされています。発射台からバブルを打ち出し、同じ色のバブルを3つ以上つなげて消してゆく、シンプルながら奥の深いゲーム性で、誰でも気軽にお楽しみいただくことができ、世界中で多くのユーザーに愛され続けています。

■株式会社gumi 会社概要

2007年6月13日設立。設立当初よりモバイルオンラインゲームの開発・運営を開始し、2011年にリリースした『任侠道』のヒット以降、数々の人気作を生み出し、様々なプラットフォームに対しこれまで40以上のタイトルを配信しております。2012年からは海外展開を推進し、アジアではシンガポール・韓国・中国・台湾等、欧米ではアメリカ、フランス、カナダ、スウェーデン等に開発拠点を有しており、現在、子会社の株式会社エイリムが提供する『ブレイブ フロンティア』などの複数タイトルを全世界に向けて配信し、世界中でトップセールスランキングの上位を維持するなど好評を得ております。今後も事業展開を一層加速させ、魅力的なコンテンツを世界中に提供することにより、モバイルエンターテインメントコンテンツ企業としてグローバルNo.1を目指してまいります。

<http://gu3.co.jp>

■株式会社タイトー 会社概要

株式会社タイトーは、業界をリードするアミューズメント施設「タイトーステーション」などの運営を行うアミューズメント・オペレーターであると共に、多彩なコンテンツ/サービスを提供している会社です。代表作には『スペースインベーダー』をはじめ、『アルカノイド』『パズルボブル』などがあります。

<http://www.taito.co.jp>

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ先】
株式会社gumi 広報宛
mail : pr@gu3.co.jp